鈴鹿市スクールバス運行基準

鈴鹿市教育委員会

学校再編に伴い、通学先が変更となる児童を取り巻く通学環境の変化に対応するため、スクールバスを運行する際の基準や考え方について定める。

1 スクールバスの利用対象者

学校再編に伴い、通学先が変更となり、自宅から新たな通学先までの通学距離が、2km 以上の児童をスクールバスの利用対象者とする。

ただし、自宅から新たな通学先までの通学距離が2km 未満の場合でも、地域の事情により配慮が必要と考えられる場合には、教育委員会が指定する乗降場所を利用することを条件に利用を可能とする。

(地域の事情により配慮が必要と考えられる場合)

- ・通学路の安全上の課題解消が難しい場合
- ・同一の町内でスクールバス利用対象地域と徒歩通学地域に分かれる場合 等

2 スクールバスの運行本数

登校時の運行本数は1便とする。

下校時の運行本数は、各学年で授業終了時刻が異なることを踏まえて2便とする。

ただし、全校児童が同じ下校時刻となる場合等は1便とする。

3 スクールバスの乗降場所

乗降場所の指定に当たっては、待機中や乗降時の児童の安全性を確保でき、スクールバスが駐停車しても他の走行車両や歩行者に影響を与えない十分なスペースが確保できる場所とする。

4 スクールバスの利用料金

スクールバスを通学のために利用する場合は、無料とする。

5 その他

この運行基準に定めるもののほか、スクールバスの運行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。